

事務事業名		地域活動支援センター事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 社会参加支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4105	一般	3	1	2	地域生活支援センター事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～年度		根拠法令 条例等	障害者総合支援法 佐野市地域活動支援センター事業実施要綱		任意的事業・義務的事業		義務的事業	
	実施方法						実施方法		全面委託		
	事業分類						事業分類		その他直接サービス提供事業		
リーディングプロジェクト						リーディングプロジェクト		該当なし			
市長マニフェスト						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
障がい者の創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進を供与する地域活動支援センターの機能を強化し、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。地域活動支援センター I 型として実施。			事業概要と同じ。 アークスフォース(精神障がい者を対象)は、I 型で実施。 事業委託料 12,621千円							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			地域活動支援センター利用者数	人	38	41	42	42	42	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
施設の利用を希望する精神障がい者。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			地域活動支援センター利用申請者数	人	38	41	42	42	42	
			精神障がい者数	人	770	821	870	930	980	
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
障がい者が地域生活を営む上で、必要な支援の提供を受け、社会参加の促進を図る。また、就労できるよう支援し、自立の推進を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			利用許可人数/利用希望者数	人	100	100	100	100	100	
			地域活動支援センター利用者数/精神障がい者数	%	5	5	5	5	4	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
社会参加の機会が増える。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			外出支援サービス利用時間数	時間	12,947	11,929	16,000	17,000	18,000	
			訓練等給付利用者数	人	259	364	230	235	240	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	2,914	2,697	2,583	2,583	2,583			
	県支出金	千円	1,457	1,349	1,291	1,291	1,291			
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	8,250	8,575	8,747	8,747	8,747			
	事業費計(A)	千円	12,621	12,621	12,621	12,621	12,621			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			事業委託料	12,621	事業委託料	12,621	事業委託料	12,621	事業委託料	12,621
			基礎的部分	5,862千円	基礎的部分	8,980千円	基礎的部分	6,787千円	基礎的部分	6,787千円
機能強化部分			5,559千円	機能強化部分	3,641千円	機能強化部分	5,834千円	機能強化部分	5,834千円	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1			
	のべ業務時間	時間	90	90	90	90	90			
	人件費計(B)	千円	350	355	355	355	355			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,971	12,976	12,976	12,976	12,976			

事務事業名	地域活動支援センター事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年10月から地域生活支援事業として実施。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地域生活支援センター「アークフォース」は平成18年10月1日に地域生活支援センターⅢ型として開始したが、19年4月にⅠ型に変更になったものである。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	対象者からは、利用料金負担のないことの継続を希望を頂いている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 地域生活支援センターの活動を支援し、障がい者が地域社会の一員として自立した生活ができるようにすることは、就労の機会を確保することに繋がる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 創作的活動又は生産活動の機会の確保、社会との交流の促進等の便宜を図ることにより、障がい者等の地域生活の支援をすることは、市が行う事務事業として妥当。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 障がい者の社会参加と就労を支援し、自立の推進を図っているため、対象と意図は見直す必要がない。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 適正な方法で運営されているが、ピアサポーターの活動を中心に、活動を活発化することができるため、推進に努める。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 現状の成果を維持するための人件費や、施設維持費を算定しており、事業費削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
現在の受益者負担は適正である		
理由・改善案 平成22年度から多くの事務事業で非課税者の自己負担がなくなっており、現状の利用者における応能力から負担がないことが適当である。		
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
自立の推進を図る事業であり、終了はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ピアサポーターの活動を支援することにより、活動をさらに活発化することができる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					